

A Gallup Survey:
"THE CHANGING FACE OF JAPAN"

©2001, conducted by Gallup Japan,
(part of The Gallup Organization, Princeton, NJ USA)

ギャロップ調査：「変わりゆく日本の素顔」

調査実施について

今回の調査は 20-79 歳の成人 1262 人、13-19 歳の十代 1179 人、10-12 歳の十代前の子ども 300 人を対象に行われた。成人の電話インタビューの所要時間は約 30 分と想定されていたにもかかわらず、平均所要時間は一件当たり 1 時間強だった。成人は沖縄を含むすべての都道府県から最近の日本人の感覚をもっとも示している人が選ばれた。十代と十代前の子どもの調査はすべて、2001 年 2 月 14 日から 3 月 11 日の間に、公立学校の教師を伴い放課後に自己回答方式で行われた。十代と十代前の子どもたちは統計的に平均的な反応を指示す東海地方から選ばれた。

分析の結果 ～ハイライト～

調査は 6 つに分類された質問に関して行われた。

人生の役割と目標

家族と友だちと教育は成人の人生において最も大切な三大要素である。

85%の十歳と 64%の成人はどのように自分が存在しているかと、よく疑問に思う。

73%の成人と 62%の十代がいつも自分の思うように人生を決められないと不自由に思っている。

十代に関して、もし、人生を変えられるならという質問に、87%が今の自分のままでいいが、他の多くのことを変えたい。48%が今の人生ではなく、違う人生が良い。36%が誰か他の人になりたい。11%が生まれてこなければよかった。と答えている。

人間関係

自分と違う考えや信条、価値観を持つ人の中に居ると居心地が悪いと思う人は、成人で 83%。最も一般的な娯楽として、入内は照る美を見ること、新聞、雑誌、漫画を読むことを挙げている。

モラルと倫理

日本人はモラルと倫理についてまったくポストモダンな考えをもっている。

「善悪は状況・環境によって変わりうる」と答えた人は、成人 75%、十代では 86%でした。

また、嘘を付かざるを得ない場合に嘘を付いても良いと思うと答えた人は、成人 75%、十代 85%でした。

ほとんどの人(成人、十代)が窃盗と借金を返さないことには在籍間を感じると答えました。

(両方は 90%上) また、婚前交渉について、たとえ誰にも知られなくてもあまり罪の意識

を感じないと考えています（37%と32%）。

なにが道徳的に良いこと、悪いこと、どちらともいえないことかという問いに、成人、十代ともに殺人と贈収賄、不倫は最悪な行為と考えている。一方、31%の成人が婚前交渉を、60%の成人が酒に酔うことを悪いこととは思っていない。

大きな決断をするときに最も影響を持っているのは、自分と伴侶（既婚者の場合）、母親である。

86%の十代の子どもが家族や友だちのほかに信頼できる人は先生と回答している。

霊的信条と体験

42%の成人と39%の十代が、魂は肉体から離れてある種の天国へ行くということに強く同意している。

面白い結果として、35%の成人と32%の十代前の子どもは死がすべての終わりであると考えている一方で、同じように考えている十代は20%にすぎなかった。

神様と個人的な関係を持つことが出来るということに同意しない人は52%と最も多く上回った。ほぼ3分の2の成人が祈りは誰も聞くことはないが、とにかく祈ることによって気持ちが落ち着くと答えている。59%の十代は同意している。

しかし、3分の1を超える成人と十代は祈りが答えられた経験があると回答している。

92%の成人と61%の十代が自分の先祖に祈ったことがあり、38%の成人と51%の十代が創造主である神に祈ったことがあると答えている。また、48%の成人と29%の十代が自然界のあるものに対しても祈った経験があると答えている。

心霊現象の体験

| | 予知夢の経験 | 死人との交信 | 幽霊を目撃 | 火の玉を目撃 | 悪霊の存在 |
|----|--------|--------|-------|--------|-------|
| 成人 | 46% | 25% | 17% | 13% | 9% |
| 十代 | 51% | 10% | 20% | 3% | 11% |

質問内容は次のとおり

- ・予知夢を見てからそれが実際に起こったかどうか
- ・死んだ人間が自分と交信しようとしていると感じたことがあるか
- ・幽霊を目撃したことがあるか
- ・火の玉を目撃したことがあるか
- ・悪霊の存在を感じたことがあるか

宗教への関わり

「宗教ありますか」という質問に対して、30%の成人と20%の十代が「はい」と回答。

「はい」と回答した人で複数回答可とした場合の回答：

| | 仏教 | 神道 | キリスト教 | 新興宗教 | その他 |
|----|-----|-----|-------|------|-----|
| 成人 | 74% | 19% | 12% | 6% | 7% |
| 十代 | 60% | 15% | 35% | 1% | 10% |

この結果は日本人の成人4%（3.6%）、十代の若者7%が自分はキリスト教徒だと主張して

いることを意味し、十代に関しては予想よりも遥かに数字が上回っていた。また、重要なのは男性よりも女性の方がそのように主張している人が多いことだ。

成人 39%と十代 33%が自分の宗教を変えてもいいと思っている。成人 5%と十代 3%は神道だけが日本の本当の宗教だと考えている。成人 56%と 53%の十代がキリスト教は西洋のためだけの宗教だという考えに賛成していない。成人は、真理を教えている事柄や、人生の危機の再保証、将来への希望などが、宗教の要因として重要だと考えている。

それぞれの世代が将来への希望が薄いと感じているがその中でも十代が最もその傾向が強い。

成人 23%と十代 22%はキリスト教に好意的な印象を持っている。

成人の 3 分の 2 と十代の半分はキリスト教に対する印象を持つのに十分知らなかったと思っている。成人 63%が日本人はイエス・キリストに従うことが出来ると思っている。